

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-294781

(43)Date of publication of application : 04.11.1998

(51)Int.Cl. H04M 1/274

(21)Application number : 09-103254

(71)Applicant : NIPPON DENKI IDO TSUSHIN KK

(22)Date of filing : 21.04.1997

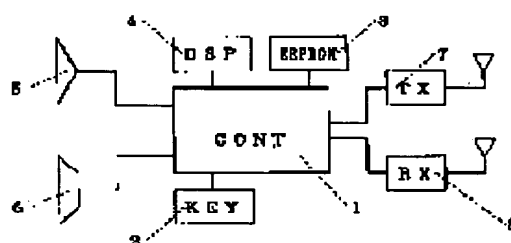
(72)Inventor : NAGANO YASUHIKO

(54) RADIO TELEPHONE SET AND COMMUNICATION EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily and quickly find out the name or the number of the desired party to which to make a telephone call by hierarchically registering telephone number data into a group preset by a user, when registering the data on a memory dial.

SOLUTION: A memory dial setting mode is started by determined key operation from a keypad 2. Then, a group name preset by the user is read out of a non-volatile memory 3, and these group names are displayed on an LCD display part 4 by a control part 1. Afterwards, the user selects the desired group name to store the telephone number data, while using a scroll key. Since the memory dial data such as the name telephone number of the party are inputted by the keypad 2 according to the picture indication on the LCD through this operation, the memory dial data are set hierarchically into the group preset by the user. Thus, data retrieval at the time of call origination is facilitated, and data can be put in order on the memory dial.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 21.04.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 13.08.1999

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-294781

(43) 公開日 平成10年(1998)11月4日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 M 1/274

識別記号

F I

H 0 4 M 1/274

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-103254

(22) 出願日 平成9年(1997)4月21日

(71) 出願人 390000974

日本電気移動通信株式会社

横浜市港北区新横浜三丁目16番8号 (N
E C 移動通信ビル)

(72) 発明者 長野 康彦

神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目16番8
号 日本電気移動通信株式会社内

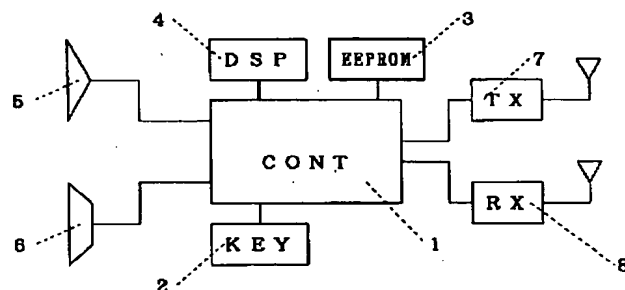
(74) 代理人 弁理士 山下 稔平

(54) 【発明の名称】 無線電話装置及び通信装置

(57) 【要約】

【課題】 メモリダイヤルからの発呼を行う時、短時間で容易に、目的とするメモリダイヤルを検索可能にするとともに、多くのメモリダイヤルを階層的に格納して整理しやすくした無線電話装置又は通信装置を実現する。

【解決手段】 メモリダイヤル機能を有する無線電話装置又は通信装置において、前記メモリダイヤルの登録時には、あらかじめ登録した複数のグループ名を表示し、選択された前記グループ内に前記メモリダイヤルを階層化して登録する手段1と、前記メモリダイヤルの呼出し時には、前記グループ名を表示し、選択された前記グループ内に登録されている前記メモリダイヤルを優先的に表示する手段1と、を有することを特徴とする無線電話装置又は通信装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 メモリダイアル機能を有する無線電話装置において、

前記メモリダイアルの登録時に、あらかじめ登録した複数のグループ名を表示し、選択された前記グループ内に前記メモリダイアルを階層化して登録する手段と、前記メモリダイアルの呼出し時に、前記グループ名を表示し、選択された前記グループ内に登録されている前記メモリダイアルを優先的に表示する手段と、を有することを特徴とする無線電話装置。

【請求項2】 前記メモリダイアルのデータを格納する際に、前記グループ名の情報も格納し、階層化構造として前記メモリダイアルのデータを管理することを特徴とする請求項1記載の無線電話装置。

【請求項3】 メモリダイアルをグループ分けして階層化するためのグループ名の情報を記憶する手段と、前記グループ名を表示する手段と、前記グループ内の前記メモリダイアルを優先的に表示する手段と、を有することを特徴とする通信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、無線電話装置等の通信装置に関し、特に電話番号のメモリダイアルへの登録を階層化して行なう無線電話装置に関する。

【0002】

【従来の技術】現在の無線電話装置は、相手の名前や電話番号データをメモリダイアルに50～100件程度登録する事が可能である。しかしながら、その中から一人のデータを読み出して発呼を行おうとする場合、登録データ数が少なければさほど問題は生じないが、たくさんのデータを登録している場合には、目的のデータを探すのが大変困難である。

【0003】従来の無線電話装置では、特開平3-184453号公報のように、目的のデータを読み出す方法として、キーパッドにより読み出す候補の相手の名前の頭文字または、連続する数字列や文字列を入力し、入力した文字の電話番号のデータを無線電話装置の画面に表示し、スクロールキーにより目的のデータを読み出すようになっている。しかし、実際読み出したい相手の名前をキーパッドにより入力する作業は面倒であり、メモリダイアルのデータの管理がばらばらであるため、仮に読み出したい相手の頭文字が分からない場合には、大変な作業になってしまう。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】第1の問題点は、従来の技術において、メモリダイアルに登録しているデータから目的のデータを頭文字のソートにより読み出そうとするとき、頭文字のキーパッドからの入力は面倒であり、仮に頭文字が分からないときは、目的のデータを読み出すのが非常に困難であることである。

【0005】第2の問題点は、従来の技術において、メモリダイアルへ電話番号を格納する際に、適当に格納するエリアの番号を指定するため、メモリダイアルに格納されているデータに規則性がなく、整理されていないということである。

【0006】現在の携帯電話やPHS等の無線電話装置では、50～100件もの電話番号及び相手の名前をメモリダイアルに登録できるようになっている。しかしながら、いざ発呼動作でメモリダイアルを呼び出そうとしたとき、登録している番号が少ないうちはスクロールさせることにより簡単に呼び出すことができるが、何十件も登録している時には目的の番号を呼び出すのにたいへんな時間と困難がかかる。仮に、ソートで呼び出そうとしてもソートさせるための頭文字をキー操作で入力するのが面倒な作業となってしまうという問題がある。

【0007】【発明の目的】本発明は、メモリダイアルへの電話番号データ登録を階層化し、メモリダイアルをいくつかのグループに分類し、グループ名を付け、発呼時のデータ検索を容易にするとともに、メモリダイアルのデータの整理を行うことを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明の無線電話装置又は通信装置は、本体内部に電源をOFFにしてもメモリダイアルデータが消えない不揮発メモリに電話番号データを格納する際に、グループ情報（グループの名前）もいっしょに格納し、階層化構造でメモリダイアルのデータを管理することを特徴とする。

【0009】また、本発明の無線電話装置又は通信装置は、メモリダイアルの登録時には、あらかじめ登録した複数のグループ名を表示し、選択された前記グループ内に前記メモリダイアルを階層化して登録する手段と、前記メモリダイアルの呼出し時には、前記グループ名を表示し、選択された前記グループ内に登録されている前記メモリダイアルを優先的に表示する手段と、を有することを特徴とする。

【0010】また、前記メモリダイアルのデータを格納する際に、グループ名の情報も格納し、階層化構造で前記メモリダイアルのデータを管理することを特徴とする。

【0011】【作用】本発明の無線電話装置又は通信装置によれば、電話番号データをメモリダイアルに格納する際に、予め設定しておいたグループのどこに格納するのかを指定し、その階層化したグループの中に格納することにより、仮に通話したい相手の名前や電話番号を忘れてたとしても、発呼時に呼び出したい相手の電話番号をまずグループ名により選択するため、その中から候補のデータを素早く見つけ出すことが可能となる。また、メモリダイアルの電話番号データがグループごとに区別されているため、データの整理が簡単となる。

【0012】図3は、本発明の概念を説明する図であ

る。図3に示されるように、グループ名として、あらかじめ「カイシャ」、「プライベート」などのグループ名を登録しておき、メモリダイアルの登録時や、呼出し時に、これを表示する。メモリダイアルは、選択されたグループ内に階層的に登録され、呼出し時には、選択されたグループ内のメモリダイアルを優先的に表示する。

【0013】このように、本発明によれば、メモリダイアルがグループごとに分かれているので、メモリダイアルデータの呼出しが短時間で容易にできるとともに、整理が可能となる。

【0014】

【発明の実施の形態】

【1】構成の説明

次に、本発明の実施例について図面を参照して詳細に説明する。

【0015】図1は、本発明の実施形態の構成を示すブロック図である。図1において、1は制御部、2はキー操作部、3は不揮発メモリ、4は表示部、5はマイク、6はスピーカー、7は送信機、8は受信機である。

【0016】本装置では、電話番号データが格納されている不揮発メモリ3にメモリダイアルをグループに分ける際のグループ名のデータも格納している。

【0017】また、図1の制御部1は、メモリダイアルの登録時には、あらかじめ登録した複数のグループ名を表示し、選択された前記グループ内に前記メモリダイアルを階層化して登録する手段と、メモリダイアルの呼出し時には、前記グループ名を表示し、選択された前記グループ内に登録されている前記メモリダイアルを優先的に表示する手段とを備えている。

【0018】図3は、本発明の階層化されたメモリデータの構成の一例を示す図である。

【0019】図3に示すように、本発明によれば、メモリダイアルを幾つかのグループ（階層化構造）に分類し、それぞれのグループの中にメモリダイアルデータを格納する。なお、グループ名はユーザにより、例えば、「カイシャ」「プライベート」などのように自由に設定できる。

【0020】図3に示すように、メモリダイアルにデータを設定する時には、格納するグループ名（図3の①）を選択することで階層化構造によるグループ分けを行う。メモリダイアルデータをグループで分類することにより、発呼時のメモリダイアルの呼び出しを容易に実現することができる。

【0021】また、メモリダイアルによる発呼を行う時には、最初に予め設定したグループ（図3の①）を選択し、そしてメモリダイアルデータ（図3の②）を選択するので、数十件のメモリダイアルデータを格納していても容易に目的のデータと呼び出せる。

【0022】【2】動作の説明

次に、本発明の実施例について、メモリダイアルデータ

をメモリダイアルのグループに登録するまでの動作について、図1および図2を参照して詳細に説明する。なお、図2は、メモリダイアル操作時の処理を示すフローチャートである。

【0023】まず、無線電話装置の利用者は、キーパッド（図1の2）から定められたキー操作によりメモリダイアル設定モードに遷移させる（図2のF1）。すると、予め利用者が設定しておいたグループ名が不揮発メモリ（図1の3）から読み出され、制御部（図1の1）によりグループ名がLCD表示部（図1の4）に表示される（図2のF2）。その後、スクロールキー（「*」キーまたは「#」キーなど）により、利用者が電話番号データを格納したいグループ名を選択する（図2のF3）。これらの動作を経て、相手の名前および電話番号等のメモリダイアルデータをキーパッド（図1の2）によりLCDの画面表示に従い入力する。

【0024】上記の動作により、メモリダイアルデータが予め利用者が設定しておいたグループの中に階層的に設定される。なお、メモリダイアルのグループへの登録については、通常状態（待ち受け状態）の他にも、ダイアル発信時や着信時にも登録可能なものであってもよい。

【0025】次に、メモリダイアルに登録したダイアルデータでの発呼動作について説明する。発呼動作の際も同様に、キーパッド（図1の2）から定められたキー操作によりメモリダイアルデータを読み出す。すると、最初にLCDにグループ名が表示され、利用者は電話したい相手が登録されているグループ名をスクロールキーにより選択する。その後は制御部（図1の1）が選択されたグループ名の情報を受信し、そのグループに登録されているメモリダイアルデータを不揮発メモリ（図1の3）から読み出し、再びLCD表示部（図1の4）にダイアルデータを表示する。利用者は再びスクロールキーにより目的のダイアルデータを選択してキーパッド（図1の2）から開始（オフフック）キーの押下により発信動作を行う。

【0026】なお、本発明は、無線電話装置に限ることではなく、メモリダイアル機能を有する通信装置であれば、同様に実施可能なことは明らかである。

【0027】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、電話番号データをメモリダイアルに登録する際に予め利用者が設定したグループの中に階層的に登録することにより、利用者が電話したい相手の名前や番号を仮に忘れた場合にもグループ毎に区分けされているために、容易に、すばやく見つけ出すことが可能となる。

【0028】更に、数十件のメモリダイアルを登録していても、グループ名単位で管理されているので整理が容易に行える。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の実施形態の動作を示すフローチャートである。

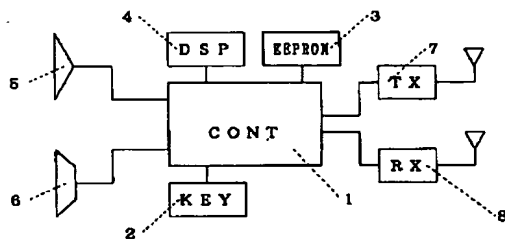
【図3】本発明の階層化されたメモリデータの構成の一例を示す図である。

【符号の説明】

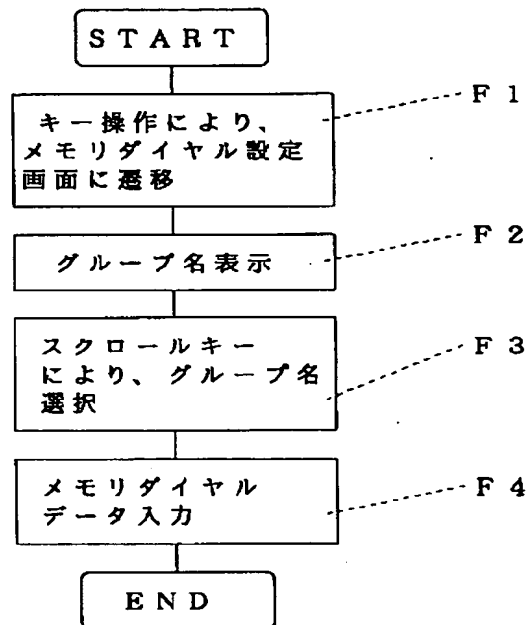
1 制御部

2 キー操作部
3 不揮発メモリ
4 表示部
5 マイク
6 スピーカー
7 送信機
8 受信機

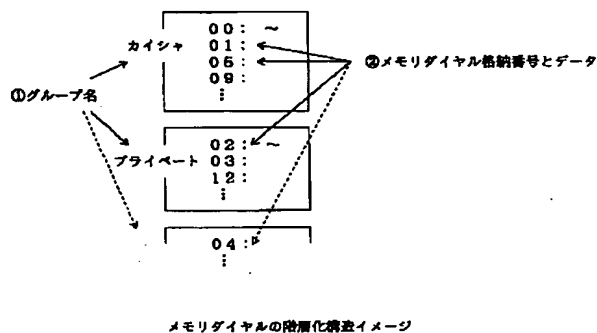
【図1】



【図2】



【図3】



※ メモリダイヤルデータによる発呼動作を行うときは、最初に①のグループ名を選択し、次にそのグループ内にある②のメモリダイヤルデータを選択する。